

松東みどり校下のまいぶんマニュアル

☆☆松東みどり校下ってこんなところ！☆☆

地形／松東みどり校下は、小松市域の半分以上を占める

険しい**山地**にあります。この**白山**前面に広がる緑あふれる森は、狩りの獲物や石材・
鉱物資源など自然の恵み豊かな場所です。また、仏教の修行やお祈りをする**山寺**や、
戦いの拠点となる**山城**として、歴史に登場します。

ぜひ授業で
紹介してほしい
ポイント！



地形の説明

年表に登場する遺跡1／**六橋遺跡**（金平町[金野町]）

おもな時代は**縄文時代**。

教科書の小単元は「**縄文のむらから古墳のくにへ**」。



旧金野小保管の縄文土器と石器（やじり）

ポイント①＝約**7000～3000年前**の縄文時代の**むら**

ポイント②＝**石器**で動物や魚をとったり、植物を加工したりして、**たて穴住居**に住んでいました。

ポイント③＝別の地点では、巨大な柱を円形に立てならべた**まつりの場**や、**縄文土器**を蔵骨器にして
埋葬した**墓**も見つかっています。

年表に登場する遺跡2／**松谷廃寺**（五国寺町）

おもな時代は**奈良時代～平安時代**。

教科書の小単元は「**天皇中心の国づくり**」～「**貴族のくらし**」。

ポイント①＝**仏教**の教えが全国に広まった時代、修行やお祈りをする**山寺**。

ポイント②＝**お堂のあと**と考えられる**礎石**が見つかりました。

ポイント③＝この遺跡は、平安時代～鎌倉時代に盛んになった**白山信仰**の寺「**白山**
中宮八院」の伝承地でもあり、それに関連して塚や石塔の部品も見つかっているため、
祈りの場としての役割が続いていたのかもしれません。



石塔の部品
（相輪）

年表に登場する遺跡3／**波佐谷城跡**（波佐谷町）

おもな時代は**室町時代～安土桃山時代**。教科書の小単元は「**戦国の世から天下統一へ**」。

ポイント①＝**織田信長軍**と**一向宗**の勢力が争った時代に、**旧波佐谷小学校東の山**に築かれた**山城**。

ポイント②＝**櫓台**や石積みなどの城の構造を示す部分のほか、**土塁**や**堀切**などの**防御
施設**もよく残っています。

ポイント③＝**城を築いたのは一向宗の勢力**と考えられています。隣には、室町時代の
文献に登場する一向宗の寺「**松岡寺**」の推定地があります。



松東みどり
校下の遺跡